

平成 29 年 12 月定例教育委員会会議録

1.12 月定例教育委員会会議

- [1]期 日 平成 29 年 12 月 26 日 (火)
- [2]場 所 市教育委員会 教育長室
- [3]会議時間 午前 9 時 54 分から午前 11 時 28 分まで
- [4]出席委員 川井田和人教育長、橋口玄郎教育長職務代理者
池野康己委員、杉尾優子委員、連尺野智子委員
- [5]参 与 中武教育政策課長、蓑方社会教育課長、
藤代スポーツ振興課長、田中教育政策課課長補佐、
鬼塚教育政策課課長補佐、山本教育政策課教育総務係長
- [6]議事日程 第 1 会議録の承認 11 月定例教育委員会会議録
第 2 行 政 報 告 12 月行政報告について
第 3 そ の 他 ①平成 29 年 12 月議会一般質問について
②平成 30 年度予算要求について

2.開 会

教 育 長 ただ今より、12 月定例教育委員会を開催いたします。

3.会議録承認

教 育 長 はじめに、11 月定例教育委員会会議録の承認を求めます。
会議録については既に原案を配付しておりますが、会議録に記載した内容についてご異議ございませんか。
(異議なし)

教 育 長 ご異議ないようですが、一部修正の必要な箇所がありますので、必要な修正のち会議録を承認することといたします。

4.行政報告

教 育 長 つづいて、12 月の行政報告をお願いします。

教育政策課長 (12 月定例市議会開会について)

20 日に終わりました、当初議案 17 議案、追加議案 13 議案、合計の 30 議案が可決をされたところでございます。また、一般質問が 7 名の議員からありまして、そのうち 6 名の議員から教育長の答弁を求められたところでございまして、こちらについては、後ほどその他のところで説明をさせていただきます。

(西都人会議について)

これは 100 人会議ということで市長が公約をされていた会議ですが、そ

の第1回が開催をされたところでございます。応募と推薦の方を含めまして97名の委員をもって、6つの部会に分かれて、来年の10月頃に提言をしていくということで会議が始められたところでございます。教育委員会につきましては、その6部会の中の教育文化の分科会でございまして、19名の委員さんがいらっしゃいます。当日会長、副会長を選任していただいたところですが、会長は原田真一会長、副会長は宇田津真理子副会長でございます。委員の中にはここにいらっしゃいます杉尾委員も入っていらっしゃいました。一つのテーマを決めて、それについて、来年の10月くらいまで5回から7回ほど協議をして、提言に結びつけていくということでございましたが、第1回では教育文化会ではテーマが決まらず、次回を2月16日に開会をすることになりますが、そこで議論していただくということになりました。

(「人権の花」運動における人権教室及び感謝状贈呈式について)

妻南小学校、都於郡中学校それぞれに5月に花の苗と看板を贈呈して、花の栽培を通して命の大切さや思いやりの心を身につけてもらうことを目的に運動を開始され、この12月に終わりをまして、感謝状の贈呈となったところでございます。

(西都市校長会について)

例年でございますが12月は西米良村と合同の校長会でございます。教育委員会としましては、この日に平成30年度に向けた学校教育の方針を説明させていただいたところでございまして、後ほど田中から予算のところの説明をさせていただきたいと思っております。

(マチホテル活動「反射材」寄贈式について)

宮崎トヨタから地域貢献活動の一環として反射材を小学校3年生全員に寄贈するというので、教育長に贈呈をしていただいたところでございます。

(小・中学校終業式について)

特に大きな問題はなかったんですが、インフルエンザがはやっております。小学校が病欠を含めて67名の子どもが欠席、中学校については13名でございまして、妻南小学校は終業式そのものを執り行わずに教室で放送のみで終わったと聞いております。

教 育 長
社会教育課長

つづいて社会教育課長お願いします。

(市指定子ども会定例会公開について)

上宮と新上宮と松田の合同の指定公開でございました。これが最後の市の指定子ども会です。

(西都市高齢者教室・このはな学園合同学習会について)

体験発表者が4名でいろんな体験発表をされております。講演は宮田若菜さんで、「幸せの花を咲かせます」ということで、チンドンを通じての人生経験の講話がありました。チンドンあり、歌あり、チンドンの体験あり

と楽しい講演でございました。交通安全教室も行われております。講演と寸劇を交えての分かりやすい丁寧な教室でございました。参加人数は98名でございました。

(西都市子ども会育成連絡協議会(ジュニアリーダー)クリスマス会について)

ジュニアリーダーがレクリエーションをしたり、教えたりするということができたけれども、昨年度30人に対して今年が18人と少なくなっているということです。来年は応募の方法を考えなければいけないということでした。

(市(校区)指定子ども会定例会公開反省会について)

この中で大河内農政課長が長年にわたり指導者として貢献され、奥様がそれを支えたということで、あわせて県の子ども会育成連絡協議会から表彰が行われております。

(高嶋ちさ子12人のヴァイオリニストについて)

市民会館の自主文化事業で、入館者数は790人ということでございました。

(クリスマス会について)

市立図書館でワークショップ「サンタにお願い事を書こう」、映写会等が行われております。51名が参加しております。

(ナウマン象発掘体験について)

ガイダンスセンター建設への機運を高めるということで、ナウマン象の化石が発見された奈良瀬坂での発掘体験を行っております。そのときにナウマン象と同じ時代に生きた鹿(しか)の化石が二つ見つかっております。参加人数が52人ということで、県職員2名、都於郡中学生18名、一般で市外の方が11人おられました。

(都於郡城跡ガイダンスセンター建設検討委員会について)

見直しについての報告をしたところです。了承を受けまして、今後見直しを検討していきます。

教 育 長
ス ポ ー ツ 振 興
課 長

つづいてスポーツ振興課長お願いします。

(第57回西都市ロードレース大会主任者会について)

17日の開催に当たりまして競技役員等の打合せを行っております。

(宮崎縣市町村対抗駅伝競走大会選手団結団式について)

第8回となります。今年の1月9日に開催されました市町村対抗駅伝競走大会においては、44チーム中11位ということで躍進賞を頂いております。今回、年明け1月8日は西都市からは2チームが参加することになっております。壹岐孝二監督、河野憲、楠瀬涼太両コーチのもとに39名がエントリーをしております。

(球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会について)

平成30年2月28日から3月3日にわたって競技が行われます。福岡ソ

フトバンクホークス、オリックスバッファローズ、千葉ロッテマリーンズ、埼玉西部ライオンズ、東北楽天ゴールデンイーグルスそれと斗山ベアーズの6チームが参加しての競技を行っています。

(第57回西都市ロードレース大会について)

日本陸連の公認西都マラソンコースを使って開催をしています。中学生の男子・一般女子が5キロ、高校男子・一般女子が10キロ、小学校男女2キロ、中学校女子3キロのコースで、エントリーが317名で、完走したのが253名でした。今回限りでこれまで後援を頂いていた西日本新聞社の後援が最後ということで、最後のあいさつをいただいところであります。

教 育 長

それでは、ご質問等あればお願いしたいと思います。

質問等がないようですので、スポーツ振興課長はここで退席をさせていただきます。

5.その他

[1] 平成29年12月議会一般質問について

教育政策課長 (資料による説明)

[2] 平成30年度予算要求について

教育政策課長 (資料による説明)

社会教育課長 (資料による説明)

田中教育政策 (資料による説明)

課 長 補 佐

橋 口 委 員

総括表のところ、100万円以上増えたり減ったりといった具合で、いっぱい増えてきているので、何でかなとは思いますが、その中で86ページの社会教育課の図書館費のところ、図書館管理事業の中に蔵書の充実みたいなのが入っているのかがよく分からないんですが、先だっ都農の図書館を見学したらすばらしさに圧倒されて、西都市もがんばらなくてはいけないという報告をお聞きしたんですけれども、208万も減って大丈夫かなというのが気になったところでもあります。それから、社会教育課の予算の中に有料道路通行料というのが計上してありますが、これが何を指すのか。それから、宝くじのふるさとワクワク事業という事業がいったい何をするのか。この辺が気になったところでもあります。あとはこんなものかという感じなんですが、働き方改革ということが強く言われているときにそれを見据えた配慮があるのかないのか。その辺を教えてくださいたいと思います。

教育政策課長

配慮とまではまだ言えないところですが、小学校についてタイムカードを設置する費用を備品購入費の中で計上、要求をさせていただいているところでございます。これにつきましては、まず各学校で教職員の勤務時間をきちんと把握するということから始めていかないと、先生方の勤務が長

いという一般的な話はあるんですが、個別にこの学校でどれくらいあるのかというところが問題になってきておりますので、その把握をきちんとできるようなかたちにしていきたいと考えております。今把握していただいているところですけども、より把握しやすい方法を考えていきたいと思っているところがございます。中学校につきましては、土日の部活動もございまして、なかなかタイムカードになじまないというご意見もありましたので、小学校のみでございまして、予算要求の中には入れておるところでございます。ただ、これをどうにかたちで働き方改革、業務負担の軽減につなげていくかというのは、今後検討しなくければいけないところだと考えております。

橋 口 委 員

荒川敏満議員の質問の中にあつた部活動の指導者に対して丁寧な答弁をされている内容の中に、新しく国が制度化しようという部活動指導員がありました。今までの社会人活用というのがなかなか有効に活用されていないというの分かるんですが、その辺がちょっとでも前向きに見えるようなことがあるのかなのか。やっぱり中学校の部活動の指導が一番大変だろうとは思いますが、その辺がちょっと聞きたかったというのが質問の趣旨です。

教育政策課長

そこにつきましては、国が30年度からの新制度として、外部指導員の制度を新たに創設されるということで、国の補助が3分の1、県の補助が3分の1で、市町村が3分の1と言う制度になると思われておりますが、これについてきちんとしたかたちで、どれくらいの枠で宮崎県に配分されるのか。それから、宮崎県教育委員会がどういうスタンスでこれを進めていくのかというところが、まだ市町村まで下りてきておりませんので、今後そこは検討していきたいと考えております。ただ、そういう枠が出てきたとしても、今度は指導者の確保の問題が出てくると思っておりますので、そこもどうしていくか。今はあくまでボランティアで外部指導者をお願いしておりますが、きちんとした制度として取り入れることができるようになれば有り難いとは思っておりますが、そういったまだ不明な点がございまして、そこはもう少し研究をさせていただきたいと考えております。

池 野 委 員

難しいですね。外部指導者に入ったとしても、任せっきりになるかどうかというのは分からないですね。

教 育 長

引率での公務災害とか、もしけがでもしたときには職員として扱うとかいうことになりますので、なかなかその辺の制度設計がまだ明確に下りてきていないので、この問題はなかなか難しいところですね。

橋 口 委 員

今までの外部指導者的な感じではなくて、一応、学校の張り付け職員みたいな感じの扱いになるはずですから、人的配置というのが。

教 育 長

人的配置もありますし、もし校長が出張をしてくださいと言えば、生徒を引率して出張もしなくてはならない。そういったことも含めていろいろと制度をしっかりと決めていかないと後で大きな問題になるというのがある

のでですね。それとまた、どれだけのお金が宮崎に下りてきて、その中で26市町村に分かれてどれだけ出せるよという話になるでしょうから、これは難しいとは思っています。

教育政策課長

人的なことを先ほど申しましたが、これを国が最初に打ち出したときは教員免許を持っている方という話からスタートして、それでは人は集まらないということで教員免許はなくてもいいけど、教育に十分理解のある方という表現になっているところもございますので、どういった方が適当なのかということも含めて、今後明らかにしていただいと、なかなかそこから踏み込めないという状況の部分もございます。

橋口委員

イメージとしては昔あったクラブ活動のある特定の分野に秀でている人を指導者として選ぶということがありましたけれども、今度のは引率とかも入っていますので、より踏み込んでますよね。けれど、教員免許の取得者に限定するとそういう人材はなかなか見つからないですよ。どうなるかは分からないけれども、予算的な問題で前後が見えないけれども、働き方改革というのは待っておれない状況に追い込まれているだろうと思いますので、何か配慮はあるのかなと。

教育政策課長
教育長

まだそこまで至っておりません。
国の補助金が途中から3年たったので切りますみたいな話になったときに、財源的なものをどこが持つのという話になったら身動きがとれなくなるかなということもまたあるような気がして不安もあります。

池野委員
社会教育課長

小規模校がいっぱいあってもなかなか大変ですよ。
図書館につきましては、図書館管理事業の208万円の減額につきましては、委託料が少なくなっているようで、事業関係ではないと思われます。ただ、来年度は図書館の30周年になりますので、それで図書館推進事業の中の131万8千円が増えておりますのは、その30周年関係でいろんなイベントをやったり、ものを作ったりしてやっていこうということです。先ほど図書館の研修の話がありましたが、これを契機に一生懸命やりたいということで、こちらの方を増やしているという状況でございます。宝くじふるさとワクワク劇場につきましては、自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施するもので、これはおおむね800人以上の文化施設を対象としています。二部構成で、第一部がお笑いオンステージ、第二部がほのぼののこメディ劇場ということになっているようです。誰を呼ぶかということは、まだ決まっていないようで、来年度はこれを西都市に呼びたいということで今考えております。

教育長
社会教育課長
橋口委員
社会教育課長

図書購入費は減っていないですよ。
減っていません。500万円で昨年度と一緒です。
充実を図るという報告がありましたよね。
来年度30周年ということで、それを契機にやるということと、学校と連携をしてシステムと一緒に入れ替えて、図書館に来なくても、学校でいろん

な図書館の本が借りられるといったかたちで読書推進を図る考えています。

教 育 長

システムというのは、例えば穂北小学校から市の図書館の本が欲しいと言えば、図書先生が連絡をしてくれて、それが届くというわけですね。

社会教育課長

学校に届きます。県の図書館も同じです。

教 育 長

その配送料も出てくるんですか。

社会教育課長

県の場合は無料です。

教 育 長

市の場合は。

鬼塚教育政策

現在、教育委員会と学校との間で文書送達をやっていますので、それを利用しようかと考えております。

課 長 補 佐

橋 口 委 員

建物とかを充実させていくというのはかなりお金がいるので難しいにしても、都農や川南のような立派な図書館と競争しようと思ったら蔵書の充実とか、今言われたICT関連の施設を拡充するとか、そういうことを前回の報告ではやるなと思ったら、あんまり変わらなかったと。

社会教育課長

内容を充実したいと思います。

橋 口 委 員

有料道路通行料というのは何なんですか。

教育政策課長

研修などを公用車とかで行く場合の高速道路を通るときの通行料を予算で計上しているものになります。

橋 口 委 員

どのくらい通って、どのくらい走るかは分からないから、わざわざそういう項目をあげておくべきものなのかどうか疑問だったからですね。

教育政策課長

予算要求する場合は、旅費はここに行きますという概算旅費が出ていますので、そこに行くまでの高速道路というのはどこからどこまで乗るというのを予定することになります。

社会教育課長

有料通行料につきましては研修計画に上げておりまして、図書館の学校連携の菊池市の視察研修時の通行料ということです。

池 野 委 員

小学校とか中学校の長寿命化計画策定調査というのをもう少し詳しく、例えばどこをやるとかが分かっていたら教えてください。

教育政策課長

これにつきましては、小学校費と中学校費で別々に計上しているところがございますが、要は全ての小中学校の施設で、校舎、体育館、プール等の施設がございますが、主に校舎でございます。ほとんどのところが建築後50年ほど経過しているところが多くなってきております。一般的にコンクリートの寿命が60年と言われておりまして、それを実際に建て替えるのか、枠組みを残して改築していくのかということで工事費が大きく変わってくるところでもございます。この長寿命化というのは、新しくするよりも改築をして、強度を保って、20年30年、もう少し長く持たせましょうという計画を策定するところございまして、まず、今の老朽化している学校施設が、どのような状態なのかということから把握していくということになります。把握した後、どういうところを修繕、改築していけば、20年30年持たせられるかということでの計画を立てていくということ

ございます。どこということになりますと、市街地の妻中学校と妻北小学校、妻南小学校は、まだ最近の建て替え等でございますので、そのほかの地域が対象になると考えておるところでございます。

池野委員 妻中学校のバリアフリー工事とかも出てきてはいますが、やってなかったんですね。

教育政策課長 学校訪問等をされる中で段差が結構いろんなところで見受けられると思いますが、当時の建築については段差があるのが当たり前のようなかたちになっております。必要があるときに改修を行っているところです。新しく改築しているところにつきましては、バリアフリーができていますが、校舎から次の校舎、校舎から体育館という渡り廊下等の段差がありますものですから、そういったことを改修していきたいと考えております。

池野委員 もうひとついいですか。先ほど田中補佐が説明された中で、みつばルームですね。妻中学校を拠点としてやるというのは、妻中学校でやるということですか。

田中教育政策課長補佐 みつばルームの職員のうち1人を基本妻中学校に配置して、そこでの対応に当たりながら、ほかの学校からの要請にも対応するというものになります。

池野委員 職員を外に置くということですね。

田中教育政策課長補佐 そうです。みつばルームの職員3人のうちの1人を妻中学校に配置するということです。

6.閉 会

教 育 長 以上で本日の会議を終わります。

7.次回教育委員会開催日程

平成30年1月29日（月） 午前10時から